

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

トナー粒子の円形度の平均値が0.94から0.99であり、かつ、円相当径の平均値が2.6から7.4 μm のトナーを用い、像担持体上に形成された静電潜像を現像し、形成されたトナー像を転写材に転写した後、定着を行う画像形成方法であって、前記像担持体上に残存した未転写トナーを回収し再使用して画像形成を行うものであり、回収された未転写トナーをトナー中間室を通過させてから使用することを特徴とする画像形成方法。